

麻酔科の入院診療を受けられた患者さんおよびそのご家族の方へ

【研究課題】ショックからの回復期における最適な血管収縮薬の中止方法 についての検討

1. 対象となる方

2017年8月1日～2023年7月31日の間に当センター集中治療室に入院し、ショックと診断された方で、血管収縮薬であるノルアドレナリン、バソプレシンを併用されていた方が対象となります。

2. 研究目的・意義

重篤な病態によって、血液が身体を十分に循環できなくなり、重要な臓器に必要な酸素が届かなくなる状態を「ショック」と呼びます。治療として血管収縮薬（血圧を上げる薬剤）を投与しますが、ショックからの回復期にどのように血管収縮薬を中止すべきか、最適な方法はわかっていません。

今回の研究ではショックからの回復期に血管収縮薬であるノルアドレナリン、バソプレシンの中止の順番が、その後の低血圧発生や死亡率、集中治療室在室期間などに関連があるかを調べます。

3. 研究方法・研究に用いる試料・情報の種類

患者さんのカルテに記載されている2017年8月1日から2023年7月31日までの情報を収集して解析する研究です。患者さんに新たに検査等のご負担をいただくことはありません。

収集する情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、基礎疾患、血液検査結果、
薬剤情報、副作用等の発生状況などの診療情報

4. 利用又は提供を開始する予定日

2025年3月14日

5. 研究期間

2025年3月14日 から 2025年9月30日まで

6. 個人情報等の取り扱い、外部への試料・情報の提供

収集した試料や情報（研究内容に応じて記載下さい。）は、氏名・住所・生年月日を削除し、代わりに新しく符号をつけた上で研究に使用します。

対象となる患者さんと符号を結びつける対照表及びデータ等は、研究責任者が自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部においてパスワードを設定したファイルに記録し USB メモリに保存し厳重に保管します。

7. 研究組織

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部 病院助教 西山聖也

8. 対象になることを望まない場合の申し出 及び お問い合わせ先

① 対象になることを望まない場合

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。研究の対象期間に集中治療室へ入室された方で、ご自身が研究の対象者かどうか不明である場合でも、診療記録を研究に使ってほしくない場合にはご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が行われていた場合や研究成果が学会・論文などで公表されていた場合は、対象から外すことはできませんので、ご了承ください。

② お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の【照会先】までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、本研究に関して苦情がありましたら【苦情の窓口】に平日の 8 時 30 分から 17 時までにご連絡をお願いします。

【照会先】

研究責任者：自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科集中治療部 西山聖也
〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847
電話 048-647-2111（代表）

【苦情の窓口】

自治医科大学附属さいたま医療センター 総務課
電話 048-648-5225